

【説明会でいただいたご質問】

<p>小中学校それぞれの統合が遅れる可能性はあるか。</p>	<p>小学校の建設にあたり八千代一中の敷地を活用しますが、不足分は隣接地を購入するため、それによる遅れが生じる可能性はあります。児童数の減少により複式学級となる小学校もあるため遅れの生じないように進めていきます。</p>
<p>東中学校は建設してまだ10年も経過していない。東中学校を活用したうえで統合を行うことはできないのか。</p>	<p>東中学校は中学生の使用を想定した構造になっており、階段や手洗い等設備の高さの違いにより小学生の使用に適しておりません。統合後の教室数や安全面、スクールバスを運行した場合にかかる費用、町外からの移住定住促進を図ること等を考慮した結果、町の中心である八千代一中の隣に小学校を設置するのが最適という結論に至りました。</p>
<p>近隣市町村には何年も前から複式学級の小学校がある。複式学級での運営も可能ではないか。</p>	<p>児童生徒が切磋琢磨できる環境、話し合いなどにより多くの意見や知識を獲得できる環境を整えることで、「主体的・対話的で深い学び」を実現することができます。 人間関係の面からも、クラス替えができる複数学級が望ましいとされています。 さらに、小中学校の校舎が近くにあることで児童生徒の交流の機会が増えるため思いやりの気持ちを育むことができます。</p>
<p>統合におけるデメリットを知りたい。</p>	<p>東中学区の地域住民の方からは、町の中心地に一極集中になってしまうのではないかと懸念する声もあります。 また、徒歩からスクールバスでの通学になる児童の運動量の低下が懸念されます。ただ、登下校時の安全や熱中症への不安を考慮するとデメリットばかりではないと考えます。</p>
<p>小学生のスクールバス利用について3km以上が対象とあるが低学年にとって3kmは長い距離になる。スクールバス利用の距離については検討を重ねてほしい。</p>	<p>文部科学省の指針では小学生のスクールバス利用の対象は4km以上とされています。町としては3km以上とする案をお示しましたが、今後、保護者等の意見を聞きながら検討していきます。</p>

<p>雨天時などは送迎の車などで八千代一中周辺が渋滞する。統合後の学校周辺の整備について聞きたい。</p>	<p>小中学校それぞれの入口の設置等も視野に入れながら今後統合準備委員会の専門部会等で検討していきます。</p>
<p>学校統合の検討を進める中で専門家の意見は取り入れたのか。</p>	<p>提言を行った「学校のあり方検討委員会」は、学識経験者として常磐大学の小島睦特任教授を委員長に選任し、検討を進めました。</p>
<p>中学校の統合において、既存の教室数で不足はないか。</p>	<p>統合後の中学校は15学級を見込んでおり、用意可能です。</p>
<p>東中学校は今後どうする予定か。</p>	<p>今のところ、具体的にどのように活用するかは決まっておらず、これから検討していきます。 今後、有効に活用できるよう、町全体で検討していきます。</p>
<p>東中学校の建設をした時の金額、現在の残額を知りたい。</p>	<p>東中学校の建設において、事業費は約15億9,500万円です。（内、校舎は約13億1,000万円）当時、国庫補助金と起債を活用しました。 起債残額は約4億6,000万円です。年間3,000万円ぐらいつ返しています。</p>
<p>準備委員会の委員案の詳細を知りたい。</p>	<p>中学校統合準備委員会委員（案）は以下のとおりです。 保護者代表：7校のPTA会長 地域代表者：小学校5地区の地区長 議会：議会議長、教育民生常任委員長 学校関係者：中学校の校長2名、小学校の校長代表1名</p>
<p>現段階での八千代町ならではの企画があれば知りたい。</p>	<p>中学校の総体や、新人戦に向けた部活動の激励会等の行事に小学生も一緒に参加することで小中学生の交流を図り、互いを尊敬・愛おしいと思う気持ちを育成します。 さらに、小学校1年生から中学3年生までの9年間を通じた地域学習を進め、教育目標「愛郷無限」の実現を図ります。 八千代町は農業基幹の町であるため、小学校1年生から中学3年生までの食農についても考えていきます。</p>

<p>統合により学童保育はどのような形になるのか。</p>	<p>現在、学童保育について、町では幼児施設に委託しています。保健福祉部子ども家庭課と教育委員会で十分協議して、町内の幼児施設のご意見等も聞きながら、町として方向性を決めていきます。</p>
<p>東中学校を改築する時点で統合のことは見通していたと思うがどうなのか。</p>	<p>八千代一中と東中の建設時、統合についてはあまり議論されなかったようで、当時の地域の方の感情的なものも大きかったと思われます。 また、コロナ禍の影響もあり、児童生徒数が急激に減少してしまいました。 東中学校の有効活用については今後検討してまいります。</p>
<p>新たに小学校の校舎を建てるとあるが、町道なども穴が空いていたりする。そういったことには目が行かなくて、こうして箱物を作ること、こういった点が行き過ぎているのかなと思う。</p>	<p>先を見通せなかった点は大きく反省すべき点です。出生数の大幅な減少をなかなか予測できなかったことや、東中の活用については、今後も調整を進めてまいります。</p>
<p>あり方検討委員会の構成メンバーを教えてください。</p>	<p>「学校のあり方検討委員会」の構成は下記のとおりです。 町議会議員：6名（各地区より1名 教育委員会が必要と認める者1名） 地区長：5名 保護者代表：9名（各小中学校PTA会長7名・幼児施設代表2名） 幼児施設の代表2名 学校関係の代表2名 大学教授1名（委員長）</p>
<p>パブコメは何件ぐらい集まったのか。どういう意見が特に多かったのか。</p>	<p>3名の方からパブコメ、その他に電話でご意見をいただきました。詳細は町ホームページをご参照ください。</p>
<p>説明の中で、キーワードが3つあったが、あり方検討委員会やパブコメを精査した中に出てきた3つということか。</p>	<p>「学校のあり方検討委員会」の中でも、児童生徒数の問題や、これからどんな教育をしていくのかについては大きく取り上げられました。「学校のあり方検討委員会」からの提言書、その後の総合教育会議、パブコメも踏まえて今回の3つのキーワードが柱と考えています。</p>

<p>他市町村では義務教育学校などがあるが、参考にしている事例はあるか。</p>	<p>「学校のあり方検討委員会」の中で、3回の先進校視察を行いました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 栃木県小山市 併設型小中一貫校 2. つくば市 分離型小中一貫校 3. 筑西市 義務教育学校
<p>説明会やアンケートで意見が出ていると思うが、その意見を今後委員会の中で反映させてほしい。準備委員会のメンバーに、町づくり・福祉分野等、子どもの意見も取り入れながら進めてほしい。</p>	<p>これから統合準備委員会の専門部会で校名等も決めていきます。そうした時には町民の方にアンケートを取るなどしていきたいと考えています。統合準備委員会の専門部会では広く意見を得られるよう、各地区の代表や保護者に依頼して検討していきます。</p>
<p>教育目標が掲げられているが、この目標を実現するためになぜ統合が必要なのか。個別最適な学び、協働的学びを目指すならば、少人数学級の方が子ども一人ひとりに行き届いた教育ができ、いじめや不登校などをなくすことにもなるのではないか。</p>	<p>「個別最適・協働的な学び」における「個別最適」とは、習熟度で授業を進めたり、一人ひとりの意見をまとめていくのが「個別最適」であり、一人ひとりじっくり教えてもらえる「少人数」とは考え方が異なります。</p> <p>人間関係に問題が生じると、小中学校9年間同じクラスで過ごしていかなければならないということを考えると、少ない人数よりクラス替えができる大人数の方が「個別最適な学び・協働的な学び」へ進んでいくことができると考えます。</p>
<p>登下校について、児童生徒が一か所に集中することによる交通事故の多発や遠距離通学により、事件や事故、学校行事や雨天時などに交通量が増加するのではないか。実際に統合した筑西市明野地域などは登下校時に大渋滞が起こっていると聞く。</p>	<p>学校行事等の際に学校周辺が大渋滞するということは考えられます。筑西市では渋滞が発生していると聞きますが、桜川市では、スクールバスを上手に活用しているようで、大渋滞は起きていないと聞いています。</p>
<p>学校のあり方検討委員会の経過について、令和4年10月から令和6年11月までの2年間で6回のみ検討委員会で十分な検討と言えるのか。</p>	<p>6回の検討において、多くの意見をいただき進めてまいりました。先進地視察も3回行い、さらに内容の濃い話し合いとなりました。</p>
<p>東中校舎建設から約9年弱しか経っていないにも関わらず廃校となってしまうのはあまりにも乱暴ではないか。使わなくなった東中はどうするのか。統合するにしても中学校区ごとにすべきではないか。</p>	<p>東中校舎建設からまだ9年程しか経過しておらず、建設当時、先を見通せなかった部分がありました。コロナ禍でこれほどまでに出生数の減少が起きることは予測できませんでした。</p> <p>今回の児童生徒の推移についても、根拠として住民登録をもとに推計していますが、今後どんなことが起こるか分からない部分もあります。</p> <p>中等教育学校等への進学も年々増えていることもあり、その点を踏まえても統合を推進しなければならないと考えています。</p>

<p>小学校の通学距離について3km以内は徒歩となっているが、近年の交通量や学校教材の増加、水筒など重いものを持ってランドセルを背負って通学するのは、特に低学年にとっては過酷ではないか。</p>	<p>説明の中で、小学校のスクールバスの利用対象は直線距離で3km以内としていますが、文部科学省では4kmとしています。町では3kmとしましたが、今後、統合準備委員会の専門部会で保護者の意見や他市町村の状況を見ながら検討していきます。</p>
<p>維持管理費について、統合をした場合でも、小学校の体育館などは維持していかなければならない。さらに、廃校になれば、旧校舎を解体するのにも膨大な費用がかかるのではないか。</p>	<p>維持管理費等は、7校で年間8,000万円となっています。一箇所に集約するとそれが節減されます。校舎を解体する場合の費用についても健全財政を維持していくため、起債も活用しながら財政計画をたてて進めてまいります。</p>
<p>各学校が今現在一時避難所になっているが、それは今後どうするのか。</p>	<p>小学校の校舎は昭和40年代から50年代に建てられた学校で、だいぶ老朽化しているため、いずれ解体することになると思われます。 ただ、学校は防災の拠点ということもありますので、今後、町全体の問題として検討していきます。</p>
<p>小学校の建設費用について、設計と建築費用だけで約37億円とあるが、土地取得費、造成費、外構費、に加えて広大な駐車スペースも必要になってくる。総額でどのくらいかかる予想なのか。</p>	<p>新設校を建てるにあたって、八千代一中の敷地を活用します。土地の購入費用については、これから検討するため、今のところ金額的には算出できていません。今後の検討となるため、決まり次第周知していきます。</p>
<p>学童保育や制服、運動着などの問題なども含めて、未来を担う子どもたちのためというのであれば、拙速に決めずにもっと時間をかけて検討していくべきではないか。結城市では統廃合に向けて進んでいたが、膨大な費用がかかるため、今年3月議会で否決となっている。さらに慎重に検討すべきではないか。</p>	<p>もっとじっくり検討すべきではないか、という意見もありますが、東中学校は今年度1クラスのみ入学者でクラス替えが全くできない学年となっています。1クラスだと、一度人間関係がこじれてしまうと、小中学校9年間同じクラスで過ごしていかなければなりません。 また、このままですと、令和11年度には、川西小学校で2つの学年を一人の先生が担任するという複式学級が発生してしまいます。それらを考えると、やはりこの学校統合は早く進めなければならないと考えます。 学童保育については、今後、各幼児施設、担当課等と協力しながら、検討していきます。制服等についても、今後、統合準備委員会の専門部会にて検討を進めていきます。</p>
<p>統合にあたって、スクールバスを利用するのに費用が発生するのか。</p>	<p>保護者の負担について、近隣の市町を見ると、1人あたり月2,000円程度負担しているところや無料にしているところもあります。今後、近隣の市町を参考にしながら検討を進めていきます。</p>

<p>小学校の建設費について、国庫補助金を活用するとあるが負担はどれぐらいあるのか。</p>	<p>補助率は2分の1です。残りは起債を考えています。地方交付税で措置される部分があるため、町の実質負担割合は建設費用の約2割と考えています。</p>
<p>一貫校について、小・中学校は離れていても良いのではないか。東中を建てて、こんなに早く手放してしまうのはどうなのか。</p>	<p>それぞれの校舎が近くにあることで、互いに交流して思いやりの心を育んだり、理想の姿を描いたりすることができます。</p> <p>ふるさと学習で「愛郷無限」の心を育むにも、小中一貫で近くにいながら共に学び合っていくことができます。</p> <p>また、教員が不在の時に相互でカバーすることが可能です。</p> <p>統合にあたって、東中を新しい小学校や中学校に活用できるかも検討しました。今現在、東中は7学級ですが、統合後の小学校では普通教室が20学級、中学校では15学級が必要となります。そのため、教室数が不足し、別棟の建設が必要となってしまいます。</p> <p>さらに、スクールバスの利用者数が八千代一中の方が少ない点から考えても、スクールバスの経費は継続してかかるため、町の中心地である八千代一中のところに新設校を設置するということになりました。</p>
<p>令和10年4月からの東中はどうなるか具体的にあるか。学校の利活用も今から考えていかないと間に合わないと思う。</p>	<p>現時点で白紙ですが、東中学校を有効活用していくということで決まっています。地域・防災の拠点ということもあり、より良い施設として生まれ変わるように、今後、町全体で考えてまいります。</p>
<p>統合について、中学校区ごとに小中学校を一緒にする等の考え方もあるのではないか。3年後、6年後に統廃合するという考えだから教室が足りなくなってしまう。児童生徒数の推移を見ると約10年後には半分になってしまう。その時に統合をすれば教室が足りないということはないか。時間をかけて検討してほしい。</p>	<p>ある程度の人数の中で子どもたちが力をつけられる環境を作らねばならないと考え、統合を進めています。あり方検討委員会の中でも、段階的に統合をすすめ、東中を活用するという意見もありましたが最終的に検討委員会では一校に統合していくという結論になりました。</p>
<p>八千代町では公募制がとられていない。いつも決められたような代表者の組織ではなく、他の市町村のように公募制でいろんな人の意見を取り入れるべき。いろんな考えを受け入れながら、次の世代に負担のないような教育を作してほしい。</p>	<p>今後、統合準備委員会の専門部会の中にはPTAの役員や地区の代表にも入っていただく予定です。保護者の意見を聞くためアンケート調査等も実施します。保護者の代表の方が専門部会に入ること、学校ごとに意見をまとめて会議に出席してもらうという形で進めていきたいと考えています。</p>